

発達障害の治療のために受診中あるいは受診経験のある  
患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センターこころの診療科では、上記の病気で受診された方の診療情報(カルテ情報)を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容(実施計画書・関連資料等)について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

発達障害患者における月経前不快気分障害(PMDD)傾向と自閉傾向、うつ傾向との関連についての探索的研究

【研究の背景と目的】

月経前症候群(premenstrual syndrome: PMS)とは、月経の前から月経が始まるまでの期間(黄体期のうちの数日)は、女性ホルモンのバランスが大きく変化するために、多彩な身体症状や精神症状を呈することで、より精神症状の重度な状態を月経前不快気分障害(PMDD)と呼ばれています。

特に女性の発達障害の患者さんにはその割合が多いのではないかと研究もありますが、まだ明確な結果にはなっていません。そこで今回の研究は、こころの診療科を受診した女性患者さんのカルテを調査して発達障害とPMDDとの関係を検討します。

【対象となる方】

精神症状の治療目的で当院こころの診療科を受診した月経周期の継続している女性患者様。

【使用する検体・診療情報】

カルテ情報：年齢、性別、診断、初診時に書いていただいた質問紙(PMDD尺度、自閉傾向尺度、うつ尺度)。なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認日後、病院長の許可日(2023年5月24日)から2026年5月30日まで実施され、200名の患者さんにご協力いただく予定です。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。

また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は2023年に開催される日本総合病院精神医学会学術総会および2024年に開催される日本精神神経学会各術総会にて中間発表予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター こころの診療科 井原裕(教授)

【問い合わせ先】

獨協医科大学埼玉医療センター こころの診療科 担当者：近藤忠一(助教)

埼玉県越谷市南越谷2-1-50 電話番号：048-965-1375(外来直通)

火、水、木曜日 9:00~17:00

以上